

環境活動レポート

《2020 年度版》

エコ印刷から始まる

持続可能な社会へ

株式会社 プリプレス・センター

2021年9月21日発行

はじめに

地球環境の保全は人類共通のテーマであり、企業も自らの役割を認識し具体的な行動を起こすことが必要です。株式会社プリプレス・センターは、全ての事業活動において環境に配慮し、積極的に環境の維持・改善・啓発に取組み、社会から信頼される企業を目指します。

印刷業としてできること

印刷業とは大量に紙資源を消費する製造業です。私たちに課せられた使命は、地球環境の負荷を最小限に抑えながら、文化を広く伝承するお手伝いを行い、サステナブルな製造体制を構築し社会に貢献することにあります。では、環境負荷を低減し、どう製造業としての役割を果たすのでしょうか？私たちは7つの約束を守り、サステナブルな企業作りを目指します。

《 約束 》

1. 無駄な量は作らない。(必要な時に必要な量をお届けします。また、適正量を提案します)
2. エコアクション21を通してPDCA (Plan、Do、Check、Action) サイクルによる、地球環境の負荷を最小限に抑えた製造体制を構築します。
3. 最高品質の環境配慮印刷を提案します。(紙・インキ・印刷方式等)
4. 製造での負荷を相殺する手段として、負荷の一部ですが森林などの緑化事業やグリーン電力などカーボンオフセットを行います。
5. 紙の消費を抑えるため、WEBなどの電子媒体で代替成果物をお客様にご提案します。
6. グリーン購入や環境に配慮した会議運営のグリーンコンベンションの普及や啓発など社会的な活動を企業として支援します。
7. 顧客だけではなく、仕入先や当社の社員、その家族を含めたステークホルダーに対しても環境への配慮活動を啓発していきます。

私たちは、常に環境配慮という視点にたって「サステナブル経営」と「低炭素社会」への実現へ向けて、「印刷とWEBのビジネスモデルの確立」を全社一丸となって取り組みます。

株式会社 プリプレス・センター 代表取締役 藤田 靖

■ 環境方針

環境保全に関する基本方針

地球環境の保全は人類共通のテーマであり、企業も自らの役割を認識し具体的な行動を起こすことが必要です。株式会社プリプレス・センターはすべての事業活動において環境に配慮し、積極的に環境の維持・改善・啓発に取り組み、社会から信頼される企業を目指します。

環境方針

1. 環境に配慮した商品開発を行い、販売に努めます
2. 環境関連法規制その他を遵守し、汚染の予防に努めます
3. 省エネルギー・省資源・廃棄物の適正管理に努めます
4. 事業活動における環境負荷の低減に努めます
5. 環境経営の継続的改善に努めます

2004年5月1日 制定
2020年8月1日 改定
株式会社 プリプレス・センター
代表取締役 藤田 靖

■ 事業所の概要

1. 事業所名及び代表者氏名

株式会社 プリプレス・センター
代表取締役 藤田 靖

2. 所在地

〒064-0810 北海道札幌市中央区南 10 条西 8 丁目 4-1

3. 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 管理本部 福岡 三知代
連絡先 TEL : 011-206-7654 FAX : 011-520-7887

4. 事業の内容

企画・デザイン、制作、印刷（オフセット・オンデマンド）、製本、パッケージ加工、
マルチメディアコンテンツ制作、WEB サイト構築・システム開発、ノベルティグッズ販売

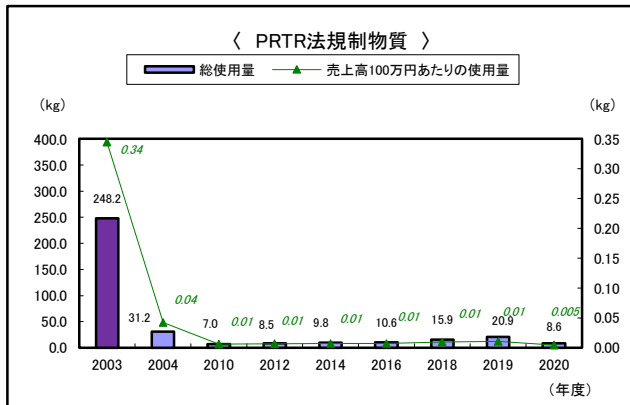
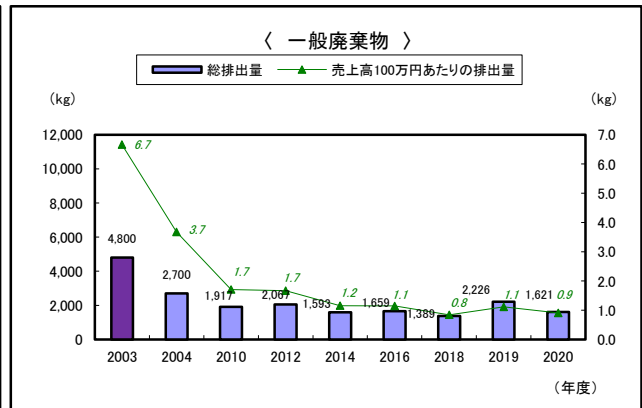
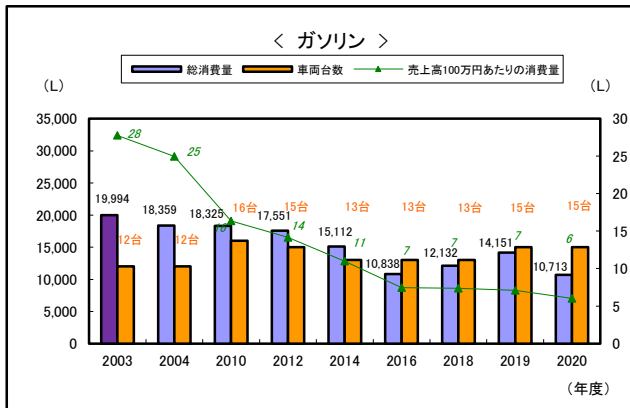
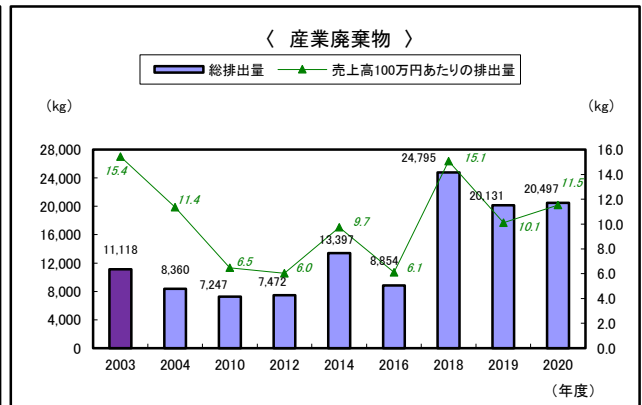
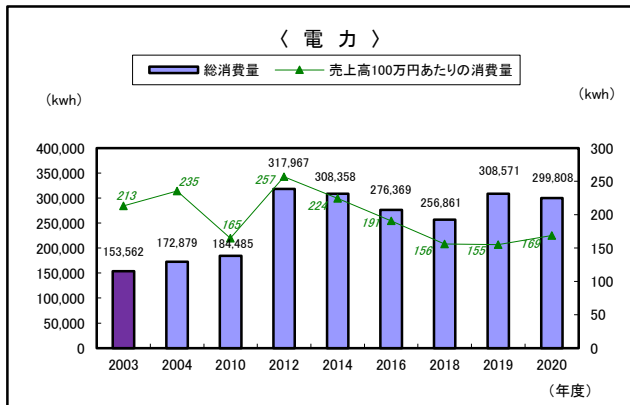
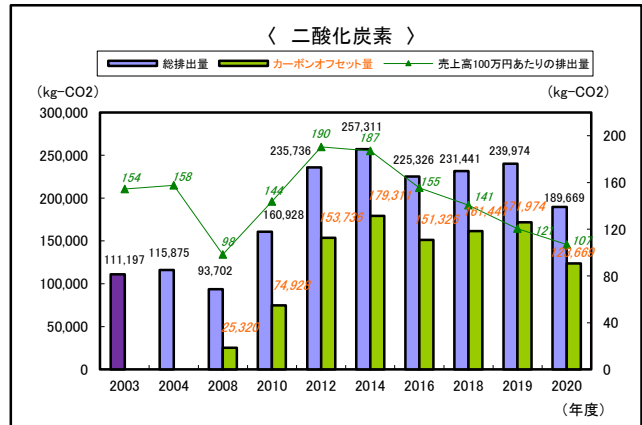
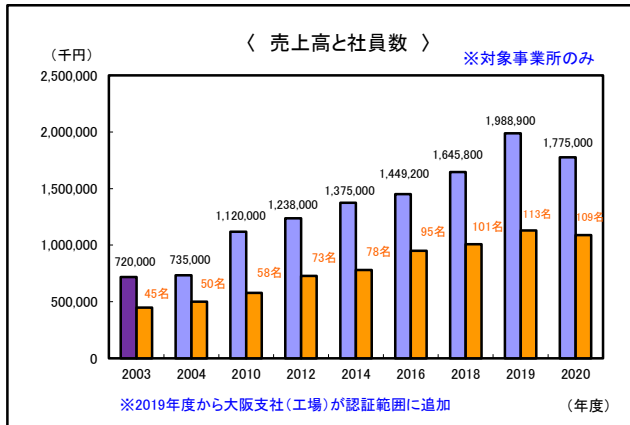
5. 事業の規模

活動規模	単位	2020 年度
売上高	万円	177,500
従業員数	人	109
床面積	m ²	3,106

6. 対象事業所

- (1) 札幌本社：北海道札幌市中央区南 10 条西 8 丁目 4-1
- (2) 東京本社：東京都台東区浅草橋 1-2-8 マルイチビル 6F
- (3) 大阪支社：大阪府大阪市東淀川区豊里 1 丁目 11-36

■ 環境への負荷状況の推移 (2004年度から環境活動開始)



- 全体的な数量減少について
新型コロナウイルスの影響で受注量が減少。それに伴い業務量(生産量)も減少したため。
- 産業廃棄物の増加について
大阪支社の不要物を廃棄したため。
- 電力について
東京本社の移転に伴い、電力使用量が把握できるようになったため、2020年度より東京本社使用分を加算した。
- 2020年度のカーボンオフセット
「123,669kg」(オフセット予定量)

(2020年度二酸化炭素排出係数(電力))

札幌(トドック電力: 0.528kg-CO2/kWh) 東京(東京電力エナジーパートナー: 0.455 kg-CO2/kWh)
大阪(関西電力: 0.334 kg-CO2/kWh)

補足説明

◆2018年度の産業廃棄物排出量増加の要因

新社屋（現所在地）への移転に伴い不要物を廃棄。また、新社屋リフォーム時の廃材排出が主な要因。

◆2019年度以降の全体的な数量増加の要因

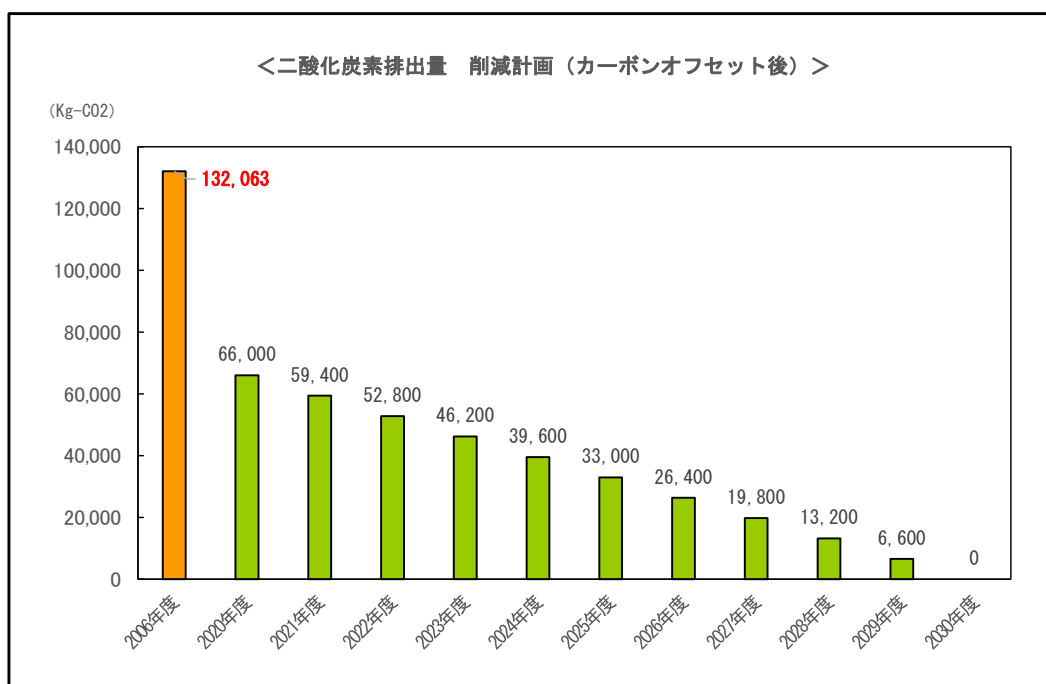
大阪支社の工場が認証範囲に追加されたのが主要因

◆カーボンオフセット後の二酸化炭素排出量について

カーボンオフセットとは

直接的な施策によって削減できないCO₂（カーボン）を、森林吸収源を守る植林やクリーンエネルギー（太陽光、水力、風力、地熱）などの事業に投資することなどにより、排出した分を相殺（オフセット）する仕組みのこと。

「2030年度までに排出量ゼロを目指します」



＜カーボンオフセットについて＞

日常活動で削減出来ない分を毎年カーボンオフセット。

オフセット後の排出量を2006年度の総排出量（132,063kg-CO₂）をベンチマークとして、2020年度までに50%以下の「66,000kg-CO₂」となるよう活動し達成しました。今後は2030年度までに「排出量ゼロ」を目指して活動を継続します。

《 事業活動排出分のカーボンオフセット実績 》

2019年度カーボンオフセット実績→171,974kg-CO₂

2020年度カーボンオフセット実績→123,669kg-CO₂

《 社員の家庭から排出分のカーボンオフセット実績 》

2019年度カーボンオフセット実績→73,201kg-CO₂

29世帯参加／参加率 27%

2020年度カーボンオフセット実績→105,624kg-CO₂

25世帯（27名）参加／参加率 25%

（算出根拠：各公共料金等の請求書に記載の使用量をエコアクション 21の「環境への負荷の自己チェック表」に基づいて算出）

《 輸送時排出分のカーボンオフセット実績 》

2019年度カーボンオフセット実績→10,896kg-CO₂

2020年度カーボンオフセット実績→10,313kg-CO₂

各宅配業者及び輸送先毎に発送数量を集計し算出

（算出根拠：発送物の数量・重量、輸送距離などを算出し、経済産業省・国土交通省の「物流分野のCO₂排出量に関する算定方法ガイドライン」を参考に当社基準を作成し算出）

◆排出量及びオフセットの内訳

2019年度

項目	排出量 (kg-CO ₂)	オフセット対象量 (kg-CO ₂)
事業活動	239,974	171,974
社員の家庭	73,201	73,201
輸送時	10,896	10,896
合計	324,071	256,071

2020年度

項目	排出量 (kg-CO ₂)	オフセット対象量 (kg-CO ₂)
事業活動	189,669	123,669
社員の家庭	105,624	105,624
輸送時	10,313	10,313
合計	305,606	239,606

オフセット量(t-CO ₂)	257
オフセット比率(%)※	79.3%

※(オフセット量÷排出量合計×100)

オフセット量(t-CO ₂)	240
オフセット比率(%)※	78.5%

※(オフセット量÷排出量合計×100)

2019年度

オフセット内訳	数量(t-CO ₂)
植林	79
道有林クレジット	18
J-クレジット	150
岩手県/住田町J-VER	10
合計	257

2020年度

オフセット内訳	数量(t-CO ₂)
オフセット先は調整中	
合計	240

排出権とは

植林や間伐等の森を守る活動や太陽光発電・風力発電導入等のクリーンエネルギーの活動によって吸収・削減された温室効果ガスを数値化したもの。国による制度に基づき認められると取引することができ、取引する温室効果ガスを「排出権（クレジット）」と呼ぶ。

[国内クレジット]

国（経済産業省、環境省、農林水産省）が運営する制度）に基づき認証された排出権「クレジット」のこと。本クレジットは、（京都議定書目標達成計画「平成20年3月28日閣議決定」において規定されている）大企業等による環境技術または資金等の提供を通じて、中小企業等が行う温室効果ガスの排出削減を見える化し、認証されることで（自主行動計画や試行排出量取引スキームの目標達成等のために）取引することができる。

参考：<http://jcdm.jp>

[J-VER]

国（環境省）が運営するオフセット・クレジット「J-VER」制度に基づいて発行される排出権「クレジット」のこと。国内の自主的な温室効果ガス排出削減・吸収活動（プロジェクト）から生み出（創出）される排出削減・吸収量をオフセット・クレジット「J-VER」という。

参考：https://www.env.go.jp/earth/ondanka/mechanism/carbon_offset/j-ver.html

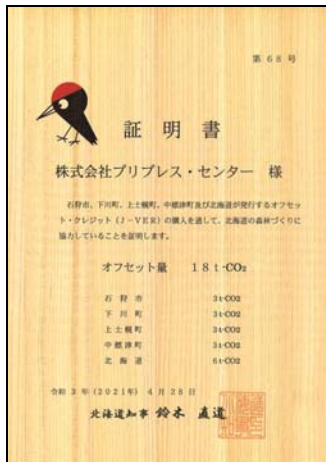
※国内クレジット制度とオフセット・クレジット（J-VER）制度は発展的に統合し、「J-クレジット制度」として、国により運営されています。

参考：<https://japancredit.go.jp>

植林活動

「NPO 法人コンベンション札幌ネットワーク」の協力による北海道美幌町の「町有林」等への植林活動。同団体のレガシーカーボンオフセット事業「サミットの森」にて本活動によるカーボンオフセットを実施しています。

<道有林クレジット/18t-CO2>



2019 年度分カーボンオフセット証明書
（北海道）

<J-クレジット/150t-CO2>



2019 年度分カーボンオフセット証明書
（北海道環境財団）

<住田町 J-VER/10t-CO2>



2019 年度分カーボンオフセット証明書
（一般社団法人 more trees）

<植林/79t-CO2>

NPO 法人コンベンション札幌ネットワークの「サミットの森」にてオフセット
(<http://www.sapporo-convention.net/environment/index.html>)

《 カーボンオフセット商品での実績 》

カーボンオフセット商品とは

商品を購入する事で、お客様ご自身が二酸化炭素の排出量削減に貢献できる商品のこと。

当社のカーボンオフセット商品

●グリーンエコ年賀状（名入れ年賀状・パック年賀状）

年賀状の購入を通じて北海道美幌町に植林を行える商品です。名入れ年賀状は310枚分で、パック年賀状は1パック（3枚入）を36パックで、カラマツ1本の植林を行います。

●カーボンオフセットカレンダー

カレンダーの購入を通じて北海道美幌町に植林を行える商品です。カレンダー100冊に付き、カラマツ1本の植林を行います。

2020年度カーボンオフセット実績→154,205kg

NPO 法人コンベンション札幌ネットワークの「サミットの森」にてオフセット
(<http://www.sapporo-convention.net/environment/index.html>)

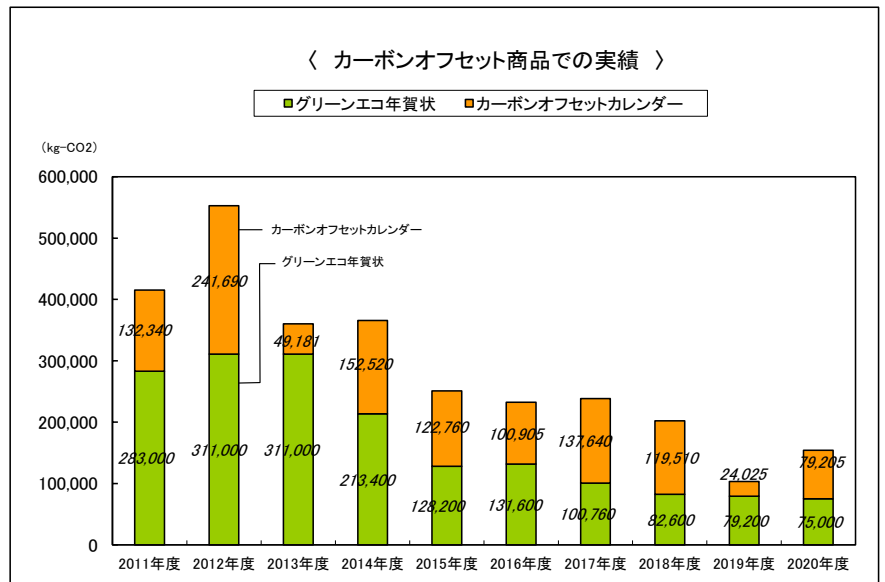
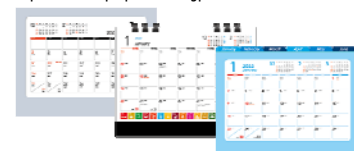
グリーンエコ年賀状

<http://www.cardbox.biz/greeneco/>



カーボンオフセットカレンダー

<https://new.pripress.co.jp/calendar/>



■ カーボンオフセットでSDGsを応援

当社は、国連で採択した世界的な社会課題解決に向けた2030年アジェンダである「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals : SDGs)」を支援する取り組みを行います。これまで当社では、事業活動・社員の家庭から排出するCO₂を相殺(オフセット)する仕組みとして北海道内のJ-クレジット等の活用や北海道美幌町への植林活動を実施。温暖化対策や地域貢献活動から、さらにSDGsへの支援を視野に入れた活動へ展開を拡げる予定です。

当社がカーボンオフセットに活用するクレジットの調達先は北海道・石狩市・下川町・上士幌町・中標津町・帯広市・知内町、植林は美幌町。調達・購入費用を寄附金として扱い、各プロジェクトへの投資・応援を通じて、下記目標につながる支援を実施しています。

関連するSDGsの目標

- 目標 7 : 再生可能エネルギーの導入促進
- 目標 11 : 持続可能なまちづくり (適切な森林の整備・保全)
- 目標 13 : 気候変動へのアクション
- 目標 14 : 海の資源の適切な管理
- 目標 15 : 森林資源の適切な管理
- 目標 17 : 行政・関係者とのパートナーシップ



※当社は、2015年に国連グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン (GCNJ) に署名・参画しています。

取組紹介



◆GCNJ <https://www.ungcjin.org> ◆SDGs <https://www.unic.or.jp> ◆J-クレジット制度 <https://japancredit.go.jp>

■ 環境目標と環境活動計画の内容と評価

1. 二酸化炭素排出量の削減（2020年度までに2006年度排出量の50%削減）

日常管理及びカーボンオフセットを実施する。

2. コピー用紙の削減・紙のリサイクル ※数値目標は設定せず、日常管理を実施

(1) コピー用紙は、両面使用する。

(2) 分別し、所定の保管場所に置く。分別された紙ごみは、随時リサイクル置き場に保管する。(保管された古紙は、業者が回収し、再資源化されます)

3. 廃棄物の削減・ごみの分別 ※数値目標は設定せず、日常管理を実施

「分別ラベル」の通り分別（一般・不燃・産廃・リサイクル）し、所定の保管場所に置く。

4. 節水への取り組み

設備更新時に節水型トイレの設置を推進し、節水に取り組んでいる。

評価

上記2～5については、2004年より継続的に実施している。大幅な経営資源の投入を行わない限り、これ以上の成果が見込めず、従来の日常管理を継続実施した。概ねルール通り実行されており、次年度も日常管理を継続する。

5. グリーン購入の推進 ※数値目標は設定せず、日常管理を実施

オフィス用品等は、環境配慮型商品を購入している。

評価

従来の日常管理を継続実施した。概ねルール通り実行されており、次年度も日常管理を継続する。

6. 化学物質の使用量削減（工場） ※数値目標は設定せず、日常管理を実施

評価

2004年度に印刷溶剤等を一斉に見直し、環境配慮型の製品へ移行した。また、新しい溶剤を購入する際も環境配慮型製品を選択しており、これ以上の削減が見込めないため、維持管理を継続する。

7. 地域貢献活動（植林や下草刈りに参加する）

評価

計画通り実施できた。(内容はP11の「その他の環境活動など」参照)

8. 札幌本社～環境配慮製品の販売数量

目標：グリーンエコ年賀状(82,000枚)→実績：87,434枚(達成/達成率107%)

評価

新型コロナウイルスの影響が未知数だったが、達成する事ができた。

9. 札幌本社～クライアントへの啓蒙活動

目標：①植林等の当社の環境活動紹介(年間600件)→実績：572件(未達成/達成率95%)

②FSC®他環境仕様の提案(年間180件)→実績：155件(未達成/達成率86%)

評価

コロナ禍の影響で積極的な訪問営業が行えず未達成となった。

10. 工場～印刷など製造上ミスの削減

目標：①印刷など工場起因のミス(事故)ゼロを目指す→実績：7件(未達成/達成率0%)

②部署内印刷ミス を 10 件以内に抑える→実績：7 件（未達成／達成率 100%）

評価

工場起因のミス（事故）が 7 件発生。随時手順書や体制を見直し工場起因のミス（事故）削減に取り組む。

1 1. 東京本社～クライアントへの啓蒙活動

目標：①植林等の当社の環境活動紹介（年間 180 件）→実績：176 件（未達成／達成率 98%）

②FSC®他環境仕様の提案（年間 60 件）→実績：64 件（達成／達成率 107%）

評価

コロナの影響を大きく受けたが、今後は SDGs への関心の高まりもあり、当社の活動内容を紹介する機会も増える見込み。

1 2. 大阪支社（営業部）～クライアントへの啓蒙活動

目標：①植林等の当社の環境活動紹介（年間 140 件）→実績：66 件（未達成／達成率 47%）

②FSC®他環境仕様の提案（年間 30 件）→実績：10 件（未達成／達成率 33%）

評価

コロナの影響が大きくあり、どちらも未達という結果に終わった。

1 3. 大阪支社（共立美線印刷事業部）～クライアントへの啓蒙活動、工場起因のミス削減

目標：①工場起因のミス（事故）ゼロを目指す→実績：1 件（未達成／達成率 0%）

②植林等の当社の環境活動紹介（年間 100 件）→実績：102 件（達成／達成率 102%）

評価

残念ながら工場起因のミス（事故）が 1 件起こってしまった。難しい製造工程でのミスだったが、発生原因も特定され、失敗の中から学んだ事も多くあり、同じミスは起こさない環境、意識付け、作業手順、見直すべきものは見直し改善する事は出来た。当社の環境活動紹介は、コロナ禍ではあったが達成する事ができた。

1 4. CO₂ 排出に係るバウンダリ（対象範囲）の拡大

①社員の家庭への啓発とともに、CO₂ 排出量を算出しカーボンオフセットする。

②宅配便を利用して納品する際の輸送に関わる CO₂ の排出量を把握しカーボンオフセットする。

（算出根拠：発送物の数量・重量、輸送距離などを算出し、経済産業省・国土交通省の「物流分野の CO₂ 排出量に関する算定方法ガイドライン」を参考に当社基準を作成し算出する）

評価

①25 世帯（27 名）参加→105,624kg-CO₂ 排出／参加率 25%

②各宅配業者及び輸送先毎に発送数量を集計し算出→10,313kg-CO₂ 排出

〈①社員に配布しているフォーマット〉

〈②CO₂ 排出の算出に使用のフォーマット〉

品名	数量												単位	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
印刷物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
紙類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

品名	距離 km	件数							総数合計	CO ₂ 排出量 (kg)	
		シブナイ	アマト	アマト	アマト	アマト	佐川	佐川			
札幌より陸送輸送	1310	566	2910	218	84	1468	1289	843	1287	0.383	37.53
北海道	1780	0	1946	249	20	22	418	234	1922	4.627	19.29
青森	423.8	0	39	0	0	2	1	58	126	0.33	0.94
北東北	385.9	0	0	0	2	18	1	36	168	0.47	0.11
岩手	373.8	0	46	0	1	64	103	68	110	3.95	1.58
宮城	534.0	0	150	12	29	29	46	156	149	5.71	2.28
山形	442.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
福島	594.9	0	45	0	11	0	0	90	140	2.29	1.17
関東	831.6	0	1655	218	610	77	739	2959	21	5.658	22.76
神奈川	856.3	0	53	23	164	33	581	1258	38	2.153	8.63
千葉	834.8	0	122	8	50	3	331	639	13	8.72	3.48
埼玉	813.4	0	131	8	89	114	88	673	0	9.963	3.89
群馬	855.9	0	80	0	3	2	1	86	23	1.61	0.78
栃木	732.3	0	26	1	2	13	0	101	0	1.43	0.53
群馬	766.3	0	11	0	23	8	0	51	0	0.34	0.24
茨城	759.4	0	20	0	23	0	0	101	12	2.18	0.82

■ その他の環境活動など

1. 北海道グリーン購入ネットワーク主催の『カーボンオフセット「サミットの森」づくり in 札幌白旗山 2020 下草刈り』に参加 (2020.07.11)



2. カーボンオフセット年賀状販売を通じた植林活動「年賀の森 (美幌町)」で植樹を実施 (2020.10.24)



例年は7月に行っていましたが、今年は新型コロナウイルスの影響で10月に行いました。
下草刈りは夏場に行くため、今年は植樹のみの実施となりました。

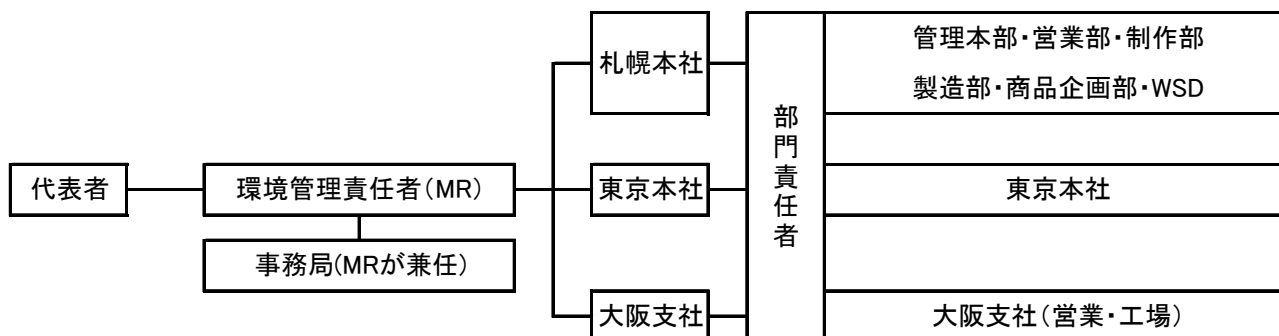
下草刈りとは

植樹した苗木の生育には日光が必要です。苗木の周りには、苗木より背の高い草木が多く生えています。そのため苗木に十分な日光が当らず成長を妨げられ生存すらできなくなることがあるため、背の高い草木を刈る「下草刈り」が必要となります。

3. 北海道グリーン購入ネットワーク主催の『Greener week』SDGs カーボンオフセット体験バスツアーに参加』(2020.11.07)



■ 実施体制



構成要素	役割、責任及び権限
代表者	<p>会社を代表し、会社業務の全ての執行を統括する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. EA21環境マネジメントシステムの実施及び管理に不可欠な資源の提供、資源には、人的資源及び専門的な技能、技術並びに資金を含む 2. 環境経営方針の作成 3. 環境管理責任者の任命 4. 全体の評価と見直しの実施
環境管理責任者 事務局	<ol style="list-style-type: none"> 1. EA21に従った環境マネジメントシステムの要求事項の確立、実施、維持 2. 代表者（社長）への実績報告を含む見直しのための報告 3. EA21環境マネジメントシステムの運用実施 4. 文書・記録の作成・管理 5. 運用状況のチェック 6. 環境活動レポートの作成責任
部門責任者	<ol style="list-style-type: none"> 1. EA21環境マネジメントシステムの運用実施 2. 環境管理責任者の指示による文書・記録の作成 3. 運用状況のチェック

■ 次年度の主要な環境目標と環境活動計画の内容

※紙のリサイクル・廃棄物の削減・節水・節電・グリーン購入の推進・化学物質の使用量削減などに関しては、2004年より継続的に取り組んでおり、これからも現状の日常管理を継続していく。ただし、設備更新の際は、環境配慮を考慮した設備の導入を検討する。

1. 札幌本社～「環境配慮製品の販売促進」・「クライアントへの啓発活動」
目標：①グリーンエコ年賀状の販売数量 88,000 枚
②当社の環境活動紹介及び FSC®他、環境仕様の提案(年間 120 件)
2. 札幌工場～「印刷など工場起因のミス、ゼロを目指す」・「部署内印刷ミスの削減」
目標：①工場全体で年間 0 件
②部署内での印刷ミス削減(年間 10 件以内)
3. 東京本社～「クライアントへの啓発活動」
目標：①当社の環境活動紹介(年間 180 件)
②FSC®、SDGs 他、環境仕様の提案(年間 60 件)
4. 大阪支社(営業二部)～「クライアントへの啓発活動」
目標：①当社の環境活動紹介(年間 100 件)
②FSC®他、環境仕様の提案(年間 15 件)
5. 大阪支社(共立美線印刷事業部)～「工場のミス、ゼロを目指す」
目標：工場全体で年間 0 件
6. その他の環境活動計画
 - (1) 社員の家庭への啓発とともに、CO₂ 排出量を算出しカーボンオフセットする。
 - (2) 宅配便を利用した際の輸送に関わる CO₂ 排出量を把握しカーボンオフセットする。
 - (3) 事業活動で排出された CO₂ をカーボンオフセットする。
 - (4) 地域貢献活動：植林や下草刈りに参加する。
7. 中長期的活動計画及び目標
CO₂ の排出量を抑制していく。(カーボンオフセット含む)
目標：2030 年度までに CO₂ 排出量をゼロにする。

■ 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

罰則・行政指導に関わる義務違反規定について、違反及び関係機関から指摘はなかった。また、訴訟等も一件もなかった。

■ 代表者による全体評価と見直しの結果

- ・ 植林や植林後の管理(下草刈)など、今後も地域貢献活動を継続していく。
- ・ CO₂ 排出に関わるバウンダリの拡大(社員の家庭や輸送時の CO₂ 排出量)の取り組みは、今後も継続していく。
- ・ 社屋の設備更新時には環境配慮型の設備導入を今後も検討する。
- ・ 有機溶剤等の取扱に関しては、これまで同様、十分注意していく。
- ・ 2030 年度までに「森づくりを通して CO₂ を 100% オフセット」する。
- ・ 工場でのミスを削減すべく、QMS 活動と並行して推進していく。

■ 当社工場で使用の印刷溶剤について

過去に印刷用溶剤に含まれる化学物質が健康被害を及ぼすとの報道がありましたが、当社では 2004 年から本格的に環境活動に取り組み、当社印刷工場で使用の溶剤につきましては、PRTR 法など、環境関係の法規制に準じた管理を一貫して行っており、従業員の健康を害するような事は一切ありません。

過去の環境活動等の紹介

1. 北海道洞爺湖サミットの公式ポスターの印刷を受注（2008年）



2008北海道洞爺湖サミット
公式ポスター 印刷(2008年)

日頃の環境配慮活動が関連機関から認められ、公式ポスター・公式ガイドブックの印刷を受注することができた。
用紙やインク、印刷方法についてはグリーン購入のガイドライン等を参考とした。

2. 「2009 日本パッケージングコンテスト」において、弊社が製造した坂本龍一さんの北海道限定シングル「nord」のCDジャケットが日用品・雑貨包装部門賞を受賞（2009年）



〈 特徴 〉

- ・紙のみで出来ている。
- ・のこぎり屑を50%以上配合した環境対応紙を使用している。
- ・外側ケースは、折り畳み形状で設計されており、糊を一切使用していない。

3. 東京都足立区の「あだち区民まつり（A-Festa2010）」において、当社の環境すごろく「環境戦隊サスティナー」が無料配布され環境啓発に協力（2010年）

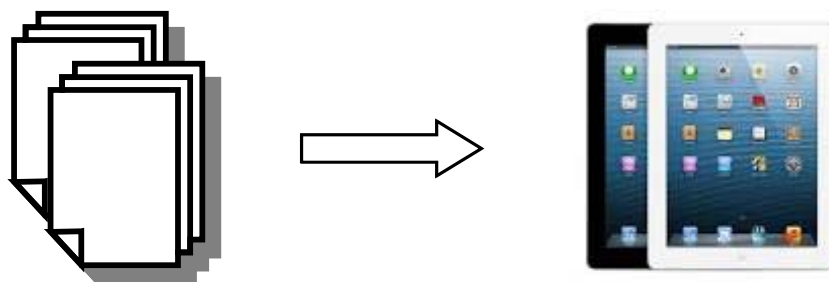


4. 大丸藤井(株)より「震災復興型カーボンオフセット用紙」を購入し、16,355kg-CO2 をオフセット (2012年)



5. ipad 導入で会議資料をペーパーレス化 (2012年)

定例会議時に使用していた会議資料を「紙」から「ipad」へ移行したことにより、A4用紙換算で年間約7,200枚のコピー用紙を削減



6. 「北海道 森と大地のカーボン・クレジット」の活用第一号となる。(2013年)



「CO-Net ニュース」より (<http://www.carbonoffset-network.jp/index.html>)

7. 「平成 25 年度カーボンフットプリントを活用したカーボンオフセット製品等試行事業」の第一号の
 認証を取得（2013 年）



環境教育団体 elsa が企画協力・実践しているプログラムで使用する環境学習ノートの作成の際に、平成 25 年度の試行事業で初めての認証を取得しました。この試行事業は、製品のライフサイクルにおける温室効果ガス排出量を算定した事業者が、別途取得した同量の クレジットにより埋め合わせ（カーボンオフセット）を行ったことを認証し、製品に認証ラベルを添付するものです。

8. 当社製造の「ポストカードシマフクロウを守ろう」が、CFP 検証合格・どんぐり認証マークを取得
 (2014 年)

カーボンフットプリント 登録情報			
1.1	登録番号	CR-BS03-15005	1/7 認証マーク
1.2	製品名称（日本語）	ポストカード「シマフクロウを守ろう」（POD版）	
1.3	製品名称（英語）	Post Card for protection Blakiston's fish owl (printed in POD)	
1.4	製品仕様	サイズ：100mm×150mm 版式：縦書き縦向きでネット 印刷仕様：300dpiサイズ（印刷面積約 17.5cm ² ）	
1.5	CI 印刷標準	1000セット	※製作者に付き、 各異となります。
1.6	印刷日	2015年2月4日	※製作者に付き、 各異となります。
2. 事業者情報			
2.1	事業者名（日本語）	グリーン(PO)製造会 (非営利 株式会社リコー)	
2.2	事業者名（英語）	GREEN(PO) MANUFACTURING CO., LTD.	
3. CFP 算出結果（単位：CO ₂ e/g）			
3.1	カーボンフットプリント	10	※CO ₂ e (※印刷面積が異なる場合は印刷面積の比率により算出結果が異なります)
3.2	原材料調達段階	9.0	※CO ₂ e
	生産段階	1.1	※CO ₂ e
	運送段階	0.071	※CO ₂ e
	使用・維持管理段階	0.00	※CO ₂ e
	廃棄・リサイクル段階	0.17	※CO ₂ e
要約表示、環境負荷の削減		26g	1シートあたり (ライフサイクル全体のCO ₂ e排出量)
3.3	環境負荷の削減割合	<ul style="list-style-type: none"> 原材料調達段階 生産段階 運送段階 使用・維持管理段階 廃棄・リサイクル段階 	
3.4	備考	[印刷会社] 株式会社リコー・センター	

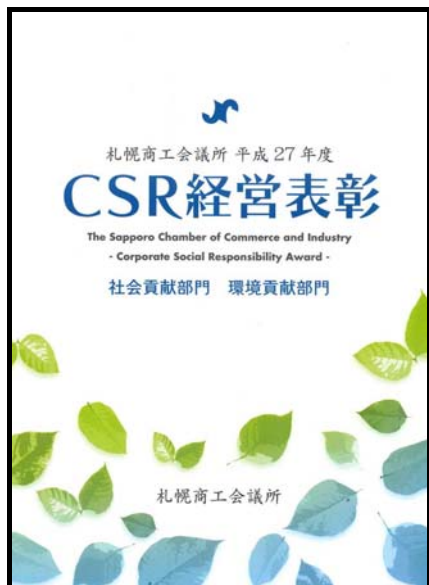
POSTCARD

4.1	CFP 算出結果の補足	オンデマンド印刷による小ロット生産時の算出用印刷物についてCFP算定を行いません。原料調達段階における温室効果ガス排出量が全体の0.7%と最も多くなり、この中でも印刷用紙の温室効果ガス排出量が最も多くなります。尚、印刷に使用されるトナー4色の原料由来の製造加工負荷についてはリコーより提供された情報を活用して算定しています。
5. 詳細情報		
5.1	印刷機名	両面および単面印刷機
5.2	印刷機メーカー	北CO-TECH社
5.3	印刷機モデル	PA-BS-03
5.4	印刷機バージョン	1.01 (初期)
6. 印刷条件		
6.1	印刷方式	システム印刷方式
6.2	システム印刷方式	SCN14001
6.3	印刷速度	CR-BS03-15005
6.4	印刷面積	20184mm ²
7	備考	[印刷機使用機]

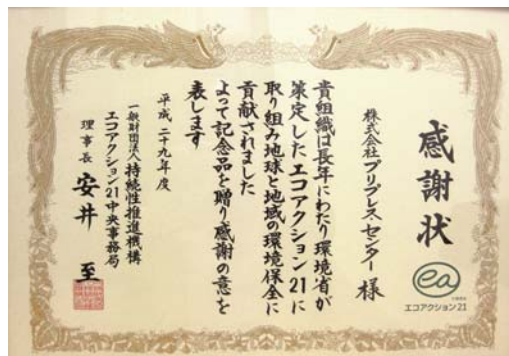
(カーボンフットプリントコミュニケーションプログラム (CFP プログラム) HP より
https://www.cfp-japan.jp/common/pdf_permission/001048/CR-BS03-15005.pdf)

※株式会社リコーが開発した「POD 印刷物の CFP 算出及び認証申請書作成支援ツール」を利用する事で、作業負担の大幅軽減を図っています。

9. 平成 27 年度札幌商工会議所「CSR 経営表彰」において、社会貢献部門と環境貢献部門をダブル受賞（2016 年）



10. エコアクション 21 認証・登録 10 年継続の事業者として表彰される（2018 年）



11. 札幌市生物多様性レポートに当社の取組が紹介される（2018 年）



1 2. 美幌町での植林活動が認められ「令和元年度善行賞」を受賞（2019.11.03）



企業及び代表者の環境活動

1988 年度

創業と同時に北海道リサイクル運動市民の会の発足から第一回目のフリーマーケット開催に携わる。(1988年から1991年まで事務局長。フリーマーケットのアメリカ現地視察、当時の北海道知事、横道孝弘氏との意見交換、札幌市のアースデー、環境月間行事、リサイクル月間行事などに多数かかわる)

1998 年度

小部数など必要な量を印刷することができるオンデマンド印刷機「インディゴ社 E-Print1000」を導入。

1999 年度

札幌市中央区に工場を新設。環境に配慮したオンデマンド水なしオフセット印刷機「ハイデルベルグ社 Quick Master DI」を導入。

2003 年度

社内製造 IT 業務ワークフローの省力化や DB 化を目的にブラウザ上で稼動する「JOB 管」を開発。

2004 年度

ISO14001 認証取得。

2005 年度

グリーン購入ネットワーク理事、札幌市環境活動推進会議委員に就任。

挨拶状・年賀状の e コマースサイト「Cardbox」が経済産業局 IT 経営百選奨励賞を受賞。新しいビジネスモデルと省力化されたワークフローなどが高く評価される。

2006 年度

印刷と WEB の新しいビジネスモデルの提案を目的に携帯 ASP サービス「モバイル店長」、ビジネスブログ「かんだネット」の販売開始。「JOB 管」やグループウェアの導入、環境配慮活動などが評価され、IT 経営百選優秀賞を受賞。

2007 年度

環境マネジメントシステムを ISO14001 からエコアクション 21 に変更。(認証・登録番号 0001952)

2008 年度

グリーン購入ネットワークの地域組織である、「北海道グリーン購入ネットワーク」の設立に向け活動を行う。

FSC® (Forest Stewardship Council、森林管理協議会) の COC 認証を取得。(認証コード CU-COC-811067)

2009 年度

イギリスで設立されたカーボンマネジメント・カーボンオフセット企業 co2baiance と排出権取引契約。

「2009 日本パッケージングコンテスト」において、弊社が製造した坂本龍一さんの北海道限定シングル「nord」の CD ジャケットが日用品・雑貨包装部門賞を受賞。

2010 年度

中小企業家同友会全国協議会主催の「2009 年度同友エコ」において、外部審査員賞を受賞。

2011 年度

中小企業家同友会全国協議会主催の「2010 年度同友エコ」において、会長賞を受賞。

北海道美幌町より「平成 23 年度善行賞」を受賞。

2012 年度

グリーン購入ネットワーク 主催の「第 14 回グリーン購入大賞」において、審査員奨励賞を受賞。

北海道美幌町より「平成 24 年度善行賞」を受賞。

2013 年度

「平成 25 年度カーボンフットプリントを活用したカーボンオフセット製品等試行事業」の第一号の認証を取得。

「北海道 森と大地のカーボン・クレジット」の活用第一号となる。

北海道美幌町より「平成 25 年度善行賞」を受賞。

2014 年度

北海道美幌町より「平成 26 年度自治功労賞」を受賞。

2015 年度

平成 27 年度札幌商工会議所「CSR 経営表彰」において、社会貢献部門と環境貢献部門をダブル受賞。

2016 年度

日本印刷産業連合会主催の「第 15 回印刷産業環境優良工場表彰」にて奨励賞を受賞。

北海道美幌町より「平成 28 年度善行賞賞」を受賞。

2017 年度

北海道美幌町より「平成 29 年度善行賞賞」を受賞。

エコアクション 21 認証・登録 10 年継続の事業者として表彰される。

2018 年度

北海道美幌町より「平成 30 年度善行賞賞」を受賞。

2019 年度

北海道美幌町より「令和元年度善行賞賞」を受賞

環境活動レポート 2020 年度版

活動期間（2020 年 6 月～2021 年 5 月）

2021 年 9 月 21 日発行

株式会社 プリプレス・センター

北海道札幌市中央区南 10 条西 8 丁目 4-1

TEL : 011-206-7654 FAX : 011-520-7887

URL : <https://www.pripress.co.jp>